

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	特別支援教育推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育法の改正等を踏まえ、様々な障害のある児童生徒に対する適切な教育を行うため、市内の小・中学校に特別支援教育支援員・特別支援教育サポーターを配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援等を行う。（平成28年度から、夏休み短縮に伴い、支援員・サポーターの勤務時間延長1050h→1075h）				
	発達障害の子どもたちの保護者と教職員を対象に、子どもたちが自立し社会生活をスムーズに送ることができるよう、専門家によるソーシャルスキルトレーニングに関する研修会を実施する。				
29年度概要	小学校49校中42校（うち2校に2人）、中学校23校中21校に支援員を配置する。 ・支援員65人を雇用、1日5時間勤務（時給980円） 小学校49校中29校、中学校23校中15校にサポーターを配置する。 ・サポーター44人を雇用、1日5時間勤務（時給980円） 夏休み短縮に伴い、支援員・サポーターの勤務時間延長				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


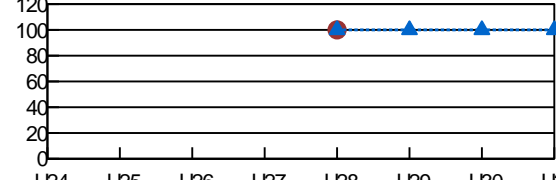

【事業の目的】

対象（何を）	特別支援学級を設置している市内の小・中学校。
意図（どのような状態にしたいか）	特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
支援員延べ活動時間数	時間			68,250	72,128	72,128

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
特別支援教育支援員配置率	%	目標値			100	100	100
		実績値			100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 特別支援教育支援員配置事業は、市内小・中学校における特別支援教育を推進する上で大きな役割を果たしている。学校側からの評価も高いことから、支援員・サポーターの配置を希望する全ての小・中学校の要望に応じていく必要がある。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	118,752	120,295	121,381	124,663
（事業費）	[円]	111,371	112,618	113,530	116,812
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	7,851	7,851

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

特別な支援を必要とする児童生徒の多様な教育ニーズに応じた適切な教育が求められている中、特別支援教育支援員の果たす役割は大きく、今後も事業の充実を図っていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各校のニーズに応じた支援を求められており、配置等について改良を考える余地がある。保護者からの個別のニーズも高まっており、支援員・サポーターの研修の充実を図る必要がある。